
開講科目名：民法研究 (4単位)
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：早川 結人

《授業の概要》

1. 授業の概要

【授業の概要】

財産法（総則・契約）領域の重要な論点を取り上げて検討する。民法の基礎理論を再度確認し、判例・事例研究を行うことで実務対応能力を身につけることを目的とする。

【授業の内容】

- 1 契約の主体 自然人
 - (1) 自然人の能力 権利能力、意思能力、行為能力
 - (2) 成年後見制度
- 2 契約の主体 法人
 - (1) 近時の法人法の改正
 - (2) 有限責任という考え方
 - (3) 法人の能力 営利事業と非営利事業
 - (4) 権利能力なき社団
- 3 契約の有効性
 - (1) 一般的有効要件
確定性、実現可能性、適法性、社会的妥当性、
無効、取消し
- 4 意思表示
 - (2) 心裡留保、虚偽表示、錯誤
 - (3) 詐欺、脅迫
- 5 代理
 - (1) 代理の基礎
 - (2) 無権代理 狭義の無権代理と表見代理
 - (3) 代理と相続
- 6 契約
 - (1) 契約の成立
契約のプロセス 契約締結上の過失、説明・情報提供義務等
 - (2) 契約存続中の関係
同時履行の抗弁権
危険負担、
- 7 解除
 - (1) 履行遅滞、
 - (2) 履行不能
 - (3) 不完全履行
- 8 売買
 - (1) 手付
 - (2) 担保責任 瑕疵担保責任
 - (3) 特殊な売買 訪問販売
- 9 賃貸借
 - (1) 賃貸借契約の成立
 - (2) 賃貸人・賃借人の権利義務
 - (3) 賃借権の譲渡・目的物の転貸
- 10 不法行為
 - (1) 不法行為の要件
故意・過失
権利・利益侵害
 - (2) 不法行為責任の成立阻却自由

- (3) 不法行為の効果
- (4) 特殊の不法行為

2. 評価方法

授業への参加状況・発言状況を含めて総合的に評価する。

《テキスト》

道垣内弘人『リーガルベイス民法入門』日本経済新聞社

《参考書》

潮見佳男他編『民法判例百選1 総則・物権 第7版』（別冊ジュリストNo. 223）有斐閣

中田裕康他編『民法判例百選II 債権第7版』（別冊ジュリストNo. 224）有斐閣